

# I . ITコーディネータ試験想定問題

(一部参照用)

問題1. ITコーディネータの役割として最も適切な説明は次のどれか

〈解答群〉

- ア. ITコーディネータはコンサルタントであるからIT経営認識領域や経営戦略・業務改革・IT戦略プロセスを中心に成果物を作成し、IT活用プロセス以降の作業はITベンダーに作業を引き継ぐことになる
- イ. ITコーディネータは経営者と経営環境変化についての認識を共有するとともに、経営変革プロジェクトの助言・支援を通して、IT経営の実現を支援する
- ウ. ITコーディネータはIT化に対するコーチであるから、IT経営プロセスのすべてのプロセスに対するプロジェクトのステイクホルダーを育成し、IT経営を推進することが求められる
- エ. ITコーディネータはIT経営のプロジェクトを推し進めるために高度な能力を有するプロジェクトリーダーであるから、プロジェクトのPDCAを効果的に実践する能力が求められることになる

問題5. IT経営の戦略経営サイクルの記述として適切な表現はどれか。

〈解答群〉

- ア. IT経営の実現に向けた内外環境変化認識、実現活動を経営・部門・担当者レベルの連携で行う管理サイクルをいう
- イ. 「IT経営への認識」を主体とした経営レベルでの管理サイクルをいい、経営戦略レベルでの見直しを検討・実践する管理サイクルである
- ウ. 目標に対する達成度評価で、部門管理やプロジェクト管理の業務管理サイクルをいう
- エ. 業務の計画とその達成度をみる日常の業務担当者の業務サイクルをいう

問題8. ITコーディネータ協会がPGLで提供するIT経営プロセスがある。  
このプロセスは“いったい何のためのプロセスなのか”について  
議論になった。  
この意見の中でより適切なものは以下のどれか。

〈解答群〉

- ア. IT経営プロセスは、経営環境の変化と成熟度を認識し、経営戦略の達成に向けてITシステムによって経営活動を効果的にするプロセスである
- イ. IT経営プロセスは、IT化を行うプロジェクトに全てに適用できるITシステムの構築プロセスである
- ウ. IT経営プロセスは、経営改革活動を効果的に進めるための経営管理項目を策定するプロセスである
- エ. IT経営プロセスは、経営環境の変化と成熟度を認識し、経営戦略の達成に向けてITシステムを利活用し、IT経営の成熟度を高めていくプロセスである

問題6. 持続的成長認識プロセスの基本原則で不適切な記述は以下のどれか。

〈解答群〉

ア. 成長の評価の原則

成果に報いる。経営者は、成果に対して個々のステイクホルダーに報いることで次なる成長につなげる。

そのために、変革の目的が達成できた際には、ステイクホルダーへの感謝の意を表明する

イ. 構想明瞭化の原則

変革の構想を描く。変化への対応を分かりやすいストーリー(構想化)としてまとめる。新しい領域・業務実現のストーリーをSCQAで記述する

ウ. 客観的評価の原則

成長を客観的に見る。成長の評価は、あらかじめ定めた目標に対して客観的に行う。定性的・定量的目標に対する評価を行う。定性的な評価とは事実情報による評価であり、定量的な評価は変革構想書の達成度をKGI/KPIで評価する

エ. 学習と成長の原則

組織能力を高め成熟度を上げる。客観的評価を行うことで、組織能力を高め、IT経営の成熟度を上げる方策をつくる。戦略経営サイクルのSPDLIのL(Learning:学習)を個々のプロセスで繰り返す

問題14. 自転車メーカーのB社は需要の変化に対応して、経営戦略の再構築のプロジェクトを発足し、事業ビジョンと経営施策を策定した。プロジェクトではこの施策の実践度合いを管理していく体制の観点に議論が移り、以下の意見が出された。  
ITCとしてより適切と思われる考え方は次のどれか。

〈解答群〉

- ア. 経営施策の管理指標による達成度は職制としての部門での継続的管理および監査としての定期的管理体制を構築すべきである
- イ. 経営施策の管理指標による達成度達成度は実務進度を管理すべきものであるが、実務部隊の負荷軽減の観点から、管理部門を作り、集中して管理することが必要である
- ウ. 経営施策の管理指標による達成度は管理者により管理されるべきものであるから、組織の管理者を中心とした継続的な管理、報告体制を構築すべきである
- エ. 経営施策の管理指標による達成度は実働の担当者により管理すべきものであるから、組織の管理者は担当者からの報告を継続的に管理するしくみを構築すべきである

問題12. 中堅の電気メーカーB社は、グローバル化の波に乗り遅れ業績不振に陥っている。事業の再構築に向けて新たな経営戦略を策定するプロジェクトが戦略企画室で始まり、議論となりいくつかの意見が出た。議論の内容は“経営戦略策定段階のプロセスとは何か？”である。ITCとしてアドバイスするより適切と思われる意見はどれか。

〈解答群〉

- ア. 社長の課題解決シナリオをもとにCSF案を作成し、経営戦略企画書の作成と各組織へ戦略を展開するプロセスである。
- イ. 社長の課題解決シナリオをもとに新たなCSF案を検証・確定し、経営戦略企画書を策定するプロセスである。
- ウ. 戦略企画室でCSF案を含め経営戦略企画書を作成することで、社長の課題解決シナリオをビジネスモデルに確定していくプロセスである。
- エ. 戦略企画室でCSF案を含め経営戦略企画書を作成することで、社長の課題解決シナリオ作成を支援するプロセスである。

問題5. IT経営の実現の観点で業務改革プロジェクトの位置づけとして、適切な記述はどれか。

〈解答群〉

- ア. 業務改革プロジェクトは、業務改革実行計画書を作成した段階で、必要時にIT戦略プロジェクトを発足する
- イ. IT経営の実現のためには業務改革とIT改革が必須になることから、経営変革プロジェクトは必ず業務改革プロジェクトとIT戦略プロジェクトが発足する
- ウ. 業務改革プロジェクトは、経営変革プロジェクトで作成される中期経営計画書によって、IT戦略プロジェクトと同時に開始する
- エ. 業務改革プロジェクトは、中期経営計画書で定義された目標ビジネスを基に業務プロセスを改革することになる



問題3. IT戦略プロセスの「IT戦略の展開」ステップの成果物が記述されている。この中で合致しない記述を選択せよ。

〈解答群〉

ア. 「IT化方針の確定」

IT化方針として、ITサービス方針、ITアーキテクチャー方針、セキュリティ・リスクマネジメント方針、IT化プロジェクトの推進方針

イ. 「目標ITサービスレベルとITサービス利活用レベルの決定」

目標ITサービスレベルに対するITサービスレベルマネジメント（SLM）、IT化プロジェクトのモニタリング & コントロールの管理項目と評価内容

ウ. 「IT化実現のロードマップ策定」

解決課題の順序、ロードマップスケジュール

エ. 「IT戦略実行計画の策定」

IT導入計画書、ステアリングコミッティ

問題8. 文房具用品メーカーのB社は販売活動や製品技術に関する情報共有のシステムを本番稼動し、半年を経た。開発のITベンダーとSLA(Service Level Agreement)を締結し、ヘルプデスクサービスを提供している。しかし、ユーザーから“電話しても答えが難しい”の意見が多く、評判はすこぶる悪い。ITベンダーの言い分は“初歩的な質問が多く、その指導に時間がかかる”である。ITCの立場で、この状況を引き起こした原因として考えられる妥当な事項として想定するのは次のどれか。

〈解答群〉

- ア. ヘルプデスク要員はあらゆる質問に対応する必要があり、そのスキルと要員不足である
- イ. ヘルプデスク機能と教育機能が分離されていないか、または教育機能を整備していない
- ウ. エンドユーザに質問を整理してくれるグループリーダまたはその専門家がない
- エ. エンドユーザからの質問整理し、保存するDBが整備されていない

# IV. 「ITコーディネータ試験想定問題カテゴリー」表

カテゴリー	問題NO	基本/応用問題	問題分野
1. 全体共通 (3問)	1	基本問題	ITCの役割
	2	基本問題	ITC実践力
	3	応用問題	ITCミッション
2. ITを活用して事業を成長させる (8問)	1	基本問題	IT経営の目的
	2	基本問題	IT経営の要求能力
	3	基本問題	IT経営プロセス
	4	基本問題	IT経営の基本原則
	5	基本問題	戦略経営サイクル
	6	基本問題	イノベーション経営サイクル
	7	基本問題	IT経営の成熟度
	8	応用問題	IT経営プロセス
3. IT経営認識領域 (11問)	1	基本問題	IT経営認識領域の位置づけ
	2	基本問題	IT経営認識領域の基本原則
	3	基本問題	SPDUと経営戦略プロセス
	4	基本問題	変革認識プロセスの原則
	5	基本問題	変革マネジメントプロセスの原則
	6	基本問題	持続的成長認識プロセスの原則
	7	基本問題	変革認識プロセス成果物
	8	基本問題	変革マネジメントプロセス成果物
	9	基本問題	持続的成長認識プロセス成果物
	10	応用問題	経営者の主体性
	11	応用問題	イノベーション経営サイクル
4. IT経営共通領域 (14問)	1	基本問題	プロジェクト原則
	2	基本問題	プロジェクトの範囲
	3	基本問題	プロジェクトの進め方
	4	基本問題	モニタリング原則
	5	基本問題	KGI,KPI
	6	基本問題	モニタリングの進め方
	7	基本問題	コミュニケーション原則
	8	基本問題	インタラクションモデル
	9	基本問題	コミュニケーション関与度
	10	応用問題	モニタリング(進捗管理)
	11	応用問題	システム化目的周知
	12	応用問題	プロジェクト管理
	13	応用問題	業績管理指標化
	14	応用問題	モニタリング体制

カテゴリー	問題NO	基本/応用問題	問題分野
5. 1 IT経営実践領域 (5問)	1	基本問題	IT経営実践領域の成果物
	2	基本問題	中期経営計画
	3	基本問題	IT経営実践領域の基本原則
	4	基本問題	ITの積極的活用
	5	基本問題	価値前提
5. 2 経営戦略プロセス (12問)	1	基本問題	経営戦略の基本原則
	2	基本問題	経営戦略プロセス
	3	基本問題	経営戦略の機能展開
	4	基本問題	経営戦略の評価
	5	基本問題	トータルコンピタンス
	6	基本問題	資金計画
	7	基本問題	事業ドメインと事業ビジョン
	8	応用問題	マイナンバー法対応
	9	応用問題	事業構築
	10	応用問題	CSF選定
	11	応用問題	サプライチェーン
	12	応用問題	戦略策定のトップの役割
5. 3 業務改革プロセス (7問)	1	基本問題	業務改革の基本原則
	2	基本問題	業務改革プロセス
	3	基本問題	業務改革プロセスの企画
	4	基本問題	新規プロセス導入
	5	基本問題	計画と成果報告
	6	応用問題	全体最適確保
	7	応用問題	継続的改善
5. 4 IT戦略プロセス (12問)	1	基本問題	IT戦略プロセスの基本原則
	2	基本問題	IT戦略プロセス
	3	基本問題	IT戦略の展開
	4	基本問題	ITガバナンス
	5	基本問題	ISMS
	6	基本問題	COBIT5のIT成熟度
	7	応用問題	情報アーキテクチャ
	8	応用問題	業務プロセス見える化
	9	応用問題	合併対処
	10	応用問題	ユーザー主体開発
	11	応用問題	経営者の役割
	12	応用問題	BCP対処

カテゴリー	問題NO	基本/応用問題	問題分野
5. 5 IT資源調達ステップ (9問)	1	基本問題	IT資源・IT導入の基本原則
	2	基本問題	IT資源調達プロセス
	3	基本問題	RFP記述事項
	4	基本問題	RFP記述レベル
	5	基本問題	クラウドコンピューティング
	6	応用問題	ITベンダー選定
	7	応用問題	開発契約
	8	応用問題	提案書選定
	9	応用問題	SLA契約
5. 6 IT導入ステップ (8問)	1	基本問題	IT導入ステップ基本原則
	2	基本問題	IT導入実行計画書
	3	基本問題	IT導入責任
	4	基本問題	IT導入プロセス
	5	応用問題	システム移行
	6	応用問題	実行メソッド
	7	応用問題	システム移行リスク
	8	応用問題	工事進行基準適用
5. 7 ITサービス利活用ステップ (11問)	1	基本問題	SLA&SLM
	2	基本問題	達成度評価プロセス
	3	基本問題	プロジェクト完遂の原則
	4	基本問題	SLM管理
	5	基本問題	SLA目標設定
	6	基本問題	IT運用
	7	応用問題	成果のモニタリング
	8	応用問題	ヘルプデスク
	9	応用問題	SLM項目
	10	応用問題	セキュリティ
	11	応用問題	ITサービス

問題数: 100問

「ITコーディネータ試験想定問題集」PGL3.0対応版サンプル

---

平成29年2月20日 第1版発行

著者:(有)情報戦略モデル研究所 井上正和

発行者:有限会社 情報戦略モデル研究所  
ITコーディネータ協会認定研修実施機関  
<http://www.ism-research.com/>

---